

# CKサンエツ東証1部に

## 変更申請 人材確保へ知名度向上

CKサンエツは、東京証券取引所第2部から第1部への市場変更を申請した。知名度を高め、優秀な人材の確保などにつなげるのが狙い。市場変更に向け、同社は14日、株式の流動性向上や株主数増を目的に立会外分売を行うと発

表した。

立会外分売は市場の時間外にまとまった上場株を売る制度で、実施予定日は3月16日。

分売株式数は5万株。売買単位は100株で、買い付け限度は1人につき500株と

する。

価格は、実施前日の終値もしくは最終気配値を基準に決

める。当社によると、変更承認の基準となる一定数以上の株主数についてはクリアしているものの、「さらに流動性を高める」としている。

CKサンエツの2017年3月期の連結売上高は681億3100万円。東証2部には同年3月から上場してい

### 銅高水準で増収増益

#### 3月期第3四半期

CKサンエツが14日発表した2018年3月期第3四半期(17年4〜12月)の連結業績は原料の銅相場が平均的に高い水準で推移したことから増収増益となった。

売上高は前年同期比26・6%増の610億200万円、

経常利益は87・1%増の38億5700万円、純利益は79・1%増の23億9千万円。

事業別売上高は伸銅が29・4%増、精密部品が11・4%増、配管・めっきが13・2%増だった。

通期業績予想を上昇修正し、売上高は昨年10月の前回予想比1・2%増の820億円、経常利益は17・8%増の53億円、純利益は17・5%増の33億5千万円とした。

子会社の日本伸銅についても通期予想を引き上げ、売上高は4・6%増の1883億円、経常利益は37・3%増の10億3千万円、純利益は43・6%増の7億9千万円。併せて発表した18年3月期第3四半期業績は売上高137億4300万円、経常利益6億3600万円、純利益4億7千万円だった。

# CKサンエツ東証1部へ

## 資金調達を強化 来月に立会外分売

黄銅棒などの製造・販売を手掛けるCKサンエツ

(高岡市)は14日、東京証券取引所に対し、東証2部から1部への市場変更を申請したと発表した。知名度を高めて、人材確保や資金調達など営業基盤の強化につなげる。市場変更に必要な株主数や流通株式比率を充足させるため、3月1〜6日に自社株を売却する立

会外分売を実施する。

### 【5面に関連記事】

同社は申請日は明らかにしていないが、審査が順調に進めば、東証2部に上場してから丸1年となる3月中にも1部への変更が承認される可能性がある。

立会外分売は、時間外取引でまとまった株式の売り注文を小口に分けて不特定

多数に売り出す手法。今回の分売予定株式数は5万株

で、買い付け申し込み数量の限度は1人当たり500株(売買単位100株)とする。価格は実施前日の2月28日の終値か最終気配値を基準に決める。

CKサンエツの釣谷宏行社長は「創業100周年を迎える2020年までに東証1部上場を目標とし

てきた。事業拡大に向けて態勢を整えていく」と話した。

同社は配管機器のシーケ―金属(高岡市)と黄銅棒のサンエツ金属(砺波市)などを中核子会社とし、従業員数はグループ全体で約1千人。2018年3月期の連結売上高は約820億円を見込む。

東証によると、富山県内に本社を構える企業で東証1部に上場しているのは15社、2部は6社ある。直近では昨年3月にアイドママーケティングコミュニケーション(富山市)が1部に上場した。

### 増収増益

#### CKサンエツ

CKサンエツの2017年4〜12月期の連結は銅相場が高い水準で推移したため、増収増益だった。売上高は前年同期比26・6%増の610億200万円、経常利益は87・1%増の38億5700万円、純利益は79・1%増の23億9千万円だった。

通期の連結業績予想を上方修正した。売上高は前回予想比1・2%増の820億円、経常利益は17・8%増の53億円、純利益は17・5%増の33億5千万円とした。子会社の日本伸銅(大阪府堺市)も通期の業績予想を上方修正した。